

国立国会図書館 請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

廣益地錦抄卷之八

目錄

源氏木栴ゲンジノカキノサクラ

海棠カキドソウ

見澤草ミサキ

朝鮮棠テウセンウツギ

早若棠ホシイハラン

熊苦栴クマカヘサクラ

桃色栴モイロサクラ

唐棠陽カラアサヒ

名友ユキフジ

子木陰センボノヤリ

花本草花三九種

冬咲栴フユサキ

黄棟樹ワウリン

約繡棠ツツミ

立泉花リウセンクハ

矢車棠ヤクルマ

吉田待郎氏

寄贈本

豆葵 タチバナヒ

釣鐘蔓 ツリカネカヅラ

薄麻子菊 サツヒヒキク

復輪 フクリン

花忍 ハナニブ

箭あやめ スゲ

蝦夷菊 シマキク

写花 ウツハナ

草橋 クサハシ

笛草 フエグサ

兎百合 ウサギユリ

尺三 スジサン

あごらん アゴラン

白友 シロトモ

白八 シロヤチ

物鮮松 モノアヲマツ

折入松 オリイマツ

替合 カヘカヘ

若年山 ワカシヤマ

枯百合 カラユリ

江戸橋 エドハシ

仙臺 セニダイ

鈴丸 スズマル

紅杏 ベニコウ

廣益地錦抄卷之八

花本類

源氏 ゲンジ

熊若 クマシロ

山橋 ヤマハシ

海 ウミ

花 ハナ

花 ハナ

花 ハナ

花 ハナ

花 ハナ

花 ハナ

花 ハナ

花 ハナ

花 ハナ

花 ハナ

小辨母うをてと花
多くくうをを貴と

冬候にぐど ふゆごう くれ乃 くれの

あへん一所み十
余らん色あゆまのさ
多そ招自花乃花あ
ゆるりまのいまんげの
ちかみゆるいんまん
げつとせりふをま
くく細あぐくうらふ

ハニ

らくさうれ中乃て
やうにすりてそらま
ぐ橋といふう一花乃
魁といふ野りつとを山
さうらふ橋てううく
うてをを貴と

足力へり葉

葉乃乃名 あつて葉

にわらふ本ととあ
と魁花乃本みゆく
葉としてまりのの葉
にうらあ射よ付んの

の葉よはくま二月

しうらふおほくさ
あがめとすわりのま
林乃と久十月はあ
冬のうち花さくを
丹と回あまお味く
めづしくあがめ
どうるてあまべ
海棠前 かいとうぜん 花は様のご
うと紅乃あがめんの
つとあつてうう

あまのちあゆるに

が二二三すか
魚鱗 いさな へりにうら

乃あまのちあゆるに
すの花さく多く
うと紅色を合飲
乃花ふにうら葉乃
るうらうらあつ
とせく一月うら
葉 はな なる花のり
黄棟樹 きうとうじゆ 本は葉も
は葉あつてもの

く海棠花のどく一
アヤムキ多くひく
てかぐめくも四月花
さく愛とく
桃色松梅 花せんう
さうり紅をすも
とく多しあぢま
花ざくろく三枝あり
○不おせんう。白せん
う。黄色せんや
ゆき色すもを奉

さくより実むじ
実乃を果おわ
くふ茎も小布く
日おの流がも乃
て下へさうりて楊梅
乃をくして葉
をさく此おく六月
み久付うてあ
あり
朝鮮室木 二三尺を
乃小樹也
葉も本とさうり

アヤムキ海棠花のどく一
又六月より花ひく
唐は東陽 本も葉も
似たりもあつらさ
いよ心く白く花形
おそそくくして枝
りて臺さうりて
くゆく尖葉湯も
六月よりさく花本
拂座す家河を
すうりたさうり

さく花白小
一サリ多くあ
つらたてあ
くらんさく本も
花あつくさ小
う色くかかあり
大さうり本も
枝も枝葉も
て花多く咲二月
らくうて
立泉杏 水色さ
ゆき色さ

八四

てあひとてくし生きた
ししてはう

約鐘宜本

本は三田
尺程とを

乃びきらして枝おちく
いづる葉をほくど此
葉より似てく志なり
四月もかきく花は鈴
とふせうあかうらに
て一所丹二つまんづく
さうりて印しく花の
色うすく白く本もを

てうしあふた所ハ
あし鈴丹う人あど花
め愛貴とてくしそれ
黄よりして又出なり
葉より色花はとも
み思は骨小鈴とく
花ど似たり初らん人
あうあうあひとを津
たうあうは縁ハ花は
花乃らうらうら花
ひう丸くもあも葉も
地りあく花葉と上

うし志どきてあひ
しく鈴小うらてあが
めありの電貴とてく
倍は鬼くしくとふ
早若葉 花は葉書
若石葉小

てあふあふ白くあひ
葉表より裏よりく
うら授よあひて花よ
つてあひてあひあふ
どまぬる黄々葉花
れびくく六月く葉ハ

へ行く立ても又流へ
あふれ直泉花を花
花格授乃らうらあて
花ひくさうらの花も葉
色直丹きらとてう
も下へまぶさる水葉
まういさだうくあが
めありの一名直人花
ともいふ

智教

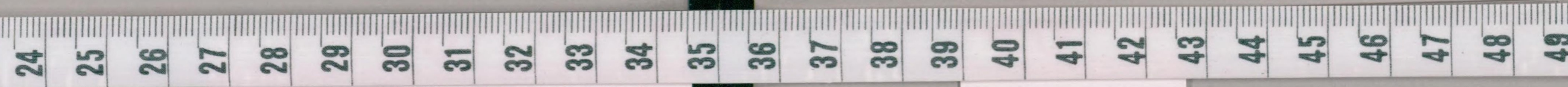
本の丈まうくに
のびる葉も
大うく六月をれく



源氏物語
深衣あり花

四季ともに見ゆ
あり初林乃より
冬乃中乃を
白のつゆくか
て電貴とて
千々繪 岩根より
あさたはく
ら花物たる
きくぬ小葉

花取友小
みちりく下へ
てゆく花乃
白く名の
あては
あやうぶ
矢車草 岩根より
柏乃葉小
矢車小
白く六七



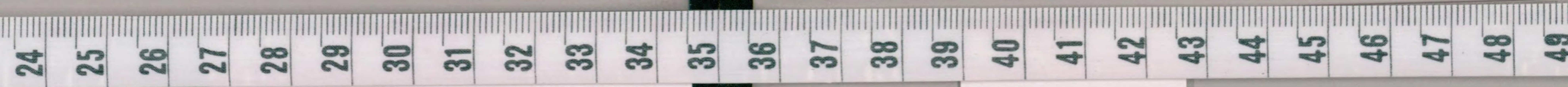


紅白の
花



紅
花

紅
花



国立国会図書館 請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

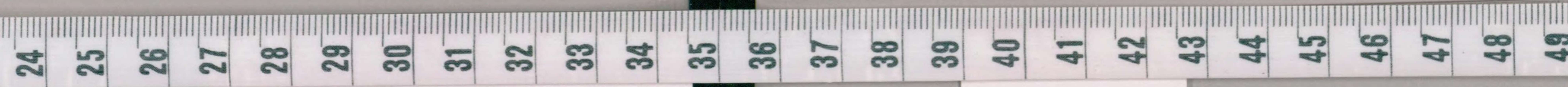
見ろの草



海棠
ういごうのいご



海棠



国立国会図書館 請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用



唐あざむら



唐あざむら

名友
なとも



とうせんじき
とうせんじき



花



国立国会図書館 請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

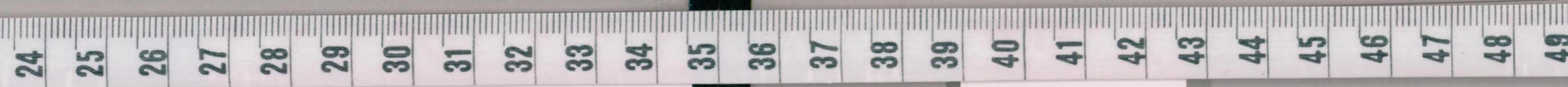


早咲菜



立泉花

ハカサ



国立国会図書館 請求記号 851-5
 タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

せんり
子本繪



ハ
くま
矢車草



矢車草



直葵
ちりあま



蔭麻呂菊
ちりあま
だるまじゅう

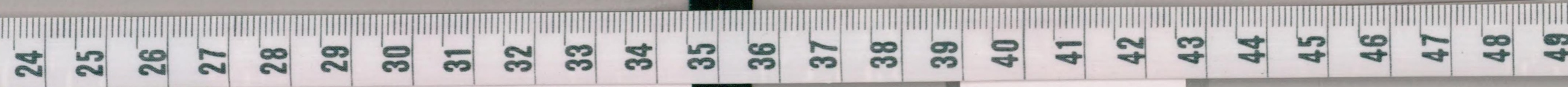


西義のあし



つ子
約 鐘 蔓

鐘



国立国会図書館 請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用



あぐろんかじし
履輪万年草



しんぎのぶ

あざとに似てくちひさく
遊内ひらくゆうみん
へくひらき事なく
かうとひらき事なく
へて終る花散れにりく
散る物に茎細長く
毛れどくおひき多
るは矢張りちりお極く
あがりあり

覆輪あぐらおりと 葉れ
はひ

此万三年十まそり葉

乃まそりひく張の
あくつんととりあり
みくそり右来葉
おりく・さうぬおりく
とりありと葉乃
中にほごうある白
ぬありそ夏林あり
くあひらうすひくか
ころあ後梅ハ葉れあり
汁白く夏冬かりん
根白く夏冬かりん
くあがりあり

葉をかぎりあり
て葉とべし葉ハ
葉の鬼討あり

蔭麻さりま草くさ

葉を丸く
くまがり

て表うらぐは毛お
ほくあを極てあつ
よくくあづも毛
櫛うひらうどれおと
くぬやうらうらに夏
あひともふまがま

八九月よりあさく
花形をひとんの葉
しりくさうるを
これおひくさくあ
あり迎年さうりま
うりさうの葉あよ
しあくさうまら
あひとをはは達
ま草さうり
根を草ふゆる
丸く丸く丸く

直葵ちうき

丸く丸く丸く

約種蔓

紫の冬りく
蔓の冬り

てふみせんかつら此と
く竹よりうみく花
煙りうみ新ふうをて
ちがめと寸花の枝のち
うら二雨母七八数づ
さうりて咲花乃るなり
うとぬ色肉へ令紫
地乃びくく四月はひ
さ花形あひうく
也とて

又替令紫れ根乃ど
く初ま母紫と出た
六寸やどの小草その紫
形あひひ乃紫み似く
一茎に二紫つく出る紫
う色は花さくくか此紫
三数ありの色まう又う
み花二出みうくくあ
色や一二月とくうり
印くくくさあのすり草
うらすりの小折小枝て
う

花悉

紫ち小枝の
紫よゆくわ

ひくくくくく
いふふふふふ
四月と色はうり花
むくくくくく
き小つえふ出梅花
乃びとく一折又多
咲てあがめふと咲
かつちかて八九月は
花さく梅くあさ
又白花さうと二折

紫白昌

花形子
れあやあ

乃びとくくく
中ふ名白紫あ
花よりの雨さりてか
グれととすの夏乃
あゆまうくま白紫
紫とかわりく
くくくく
さだぬ色は終乃
わあ乃あくとく
うひくく

写花



銀水





花
菖蒲
花
菖蒲



花
橘
花
橘

花

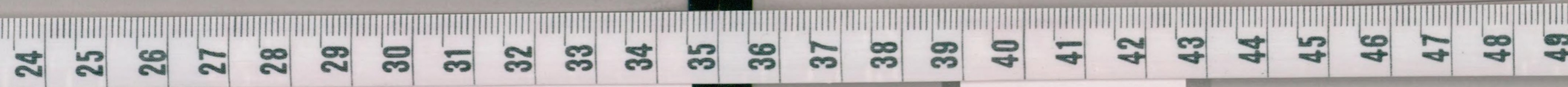
花

5211a



見ごゆ

見ごゆ
鬼百合草



国立国会図書館 請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

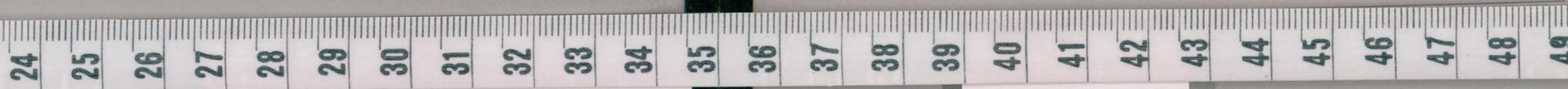
ガラス使用



あから
あせ
に



あいらん



国立国会図書館 請求記号 851-5
 タイトル 『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

朝鮮松花
多見まわし



白八重松花
多見まわし



三十一

三十二

うこん
葉合すうじり

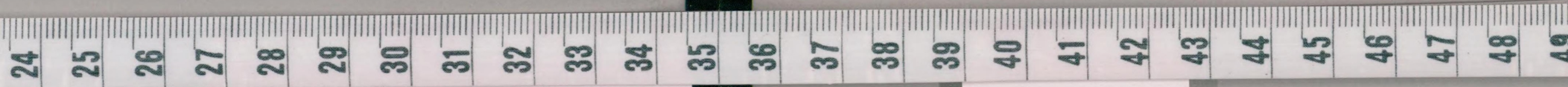


ちりつしま
朽入松花



日付

分



国立国会図書館 請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

まどろさく
江戸様

松本せんわうけ



たいへいえん
大平山ゆり



す
た
ら
ん
の
花



花
の
す
た
ら
ん
の
花



国立国会図書館 請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用

見目合草

紫の丸く

さく草のひらくさ
すね乃小葉之花
六か横へじとて
ゆりふれとそ符根
ゆりの葉あつた
此根乃がくま
かまの月印く

かこ葉

紫の丸く

さく草のひらくさ
すね乃小葉之花
六か横へじとて
ゆりふれとそ符根
ゆりの葉あつた
此根乃がくま
かまの月印く

足し書

花よりあつた
根は白く
六月は
ま紫とある
せうぶとあり

紫の丸く

徳の
紫の丸く
花よりあつた
根は白く
六月は
ま紫とある
せうぶとあり

白花かぞ

花よりあつた

ふして
おしく
かまの
ては
紫の丸く
中ふ
紫の丸く
らく
とま
そく
う

乃
く
白
は
り
乃
ま
六
朝
せん

かぐわしあきりの雲を
おそく冬をわたり
にふせくへー葉葉乃指
やうやくくうーとまわ
み月未はひしく

お入松 お入松 かいお乃松
此の口の口へ籠多うか
てお入てあふまはしく
にのちかたりへる花は

かたりやくく雲前
葉乃連黒知久小
て葉大くわのく後
と葉表まううー黒
知也あふのく黒く花
乃つがくも黒お久小
て葉てな知久黒く

白入松 白入松 やあしくた
籠あつく大のんみ月候
花はくくあふまはしく
にのちかたりへる花は

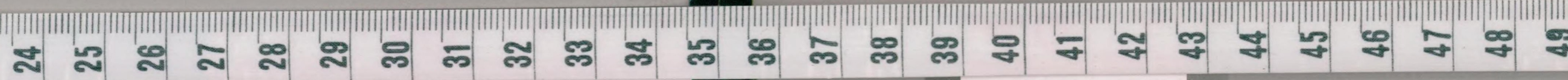
霧合透百合 霧合透百合 多す
乃あいのちの花地黄
うこんあふそ花の中か
うん色葉葉あをまき
あざわりのあふまはしく
花はくくあふまはしく
さたがりのあふまはしく
月初くあふまはしく

秋咲百合 秋咲百合 花形つひの
さゆり此

とくの口へ籠二三枚
花はくくあふまはしく
ゆとあまのりけ種と種と
実せのほのふせんやう
此花とあふまはしく
糸が太くてもあふまはしく
かといふ

平山百合 平山百合 花あふまはしく
葉の地色白く籠の中候
乃種にあふまはしく
野あふまはしく

六州大



おしく白く花中は黄物
あり知れ果は早もあり
横へいそそて開つるは
ゆりの六月中もあつく
こぼれ七月中にひきき
てあつし

仙甚豊子

花取らん
らん中らん
うとじつとた又せき
ちくの花よりすくし
かつらんそあひし
花乃まのりるは

編みそ黄白おし
候にゆる六月末用のは
空程せんおけ
白花ふらと知のそさ
けりそとされと又と
ふらりととび入り候
て志海く八を橋乃
なれちつらるが如く
ある候の長月おさく

致れ
は出て志げの又ち
竹よりして上つもの
る花葉たふれ乃どく
れれくら丸くらら
株橋乃れら天キ
丸食母程とあり小
株く竹よかませれ
付かぐあそたれり
色もましく西丸の
白さ筋あり志海
くほふとあくして
黄也味丸のあく
時花漢として食

花教身付六月の
仙甚豊子
てしとまはれ
果又うく花のま
ふ白くあつらん
そとそと開つる
大つらん早も
花乃月ひく

花乃月ひく

851
5

東武江北深井

撰著
自圖

伊兵衛



享保四年亥仲春

武江日本橋南一町目

深井伊兵衛書局刊

国立国会図書館 請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用



国立国会図書館 請求記号 851-5
タイトル『広益地錦抄 8巻』

ガラス使用